

第二言語不安における自己評価の影響

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 関西外国語大学・関西外国語大学短期大学部 公開日: 2025-03-17 キーワード (Ja): 第二言語学習, 言語不安, 日本語不安, 自己評価 キーワード (En): 作成者: 末永, 叔子 メールアドレス: 所属: 関西外国語大学
URL	https://doi.org/10.18956/0002000321

第二言語不安における自己評価の影響

末 永 叔 子

要 旨

第二言語の習得には複数の情意要因が関連し、そのうち言語不安（言語を使用する場面に特異的な不安）は言語習得に負の影響を及ぼすことが知られている。本研究では日本国内で第二言語として日本語を学ぶ留学生を対象とし、日本語不安と母語および日本語に対する自信についての自己評価、日本語能力の関連性を検討した。その結果、日本語不安の高さと日本語能力に負の相関関係がみられた。さらに日本語不安の高い学習者は、母語に対する自信と日本語に対する自信の乖離が大きいことが明らかとなった。また、日本語学習者の置かれた状況、不安を感じる場面、不安を感じた際の行動パターンを分析したところ、日本語学習者が言語不安を感じる場面は、他者との比較の場面で不安を感じやすいタイプと公的な場で不安を感じやすいタイプに分かれ、不安を感じた際はそれぞれ異なる行動を取る傾向があることが明らかとなった。

キーワード：第二言語学習、言語不安、日本語不安、自己評価

1. はじめに

「日本語を話すとき、緊張してうまく話せない。」

「言いたいことがうまく通じないと不安を感じる。」

「できるだけ完璧な日本語を使って、日本人とはなしたいです。やはり、外国人として、一番ストレスを感じているのは外国人扱い。よそものとみられる。」

「日本語の漢字がとても難しい。間違って使用するのが怖い。」

「日本語で意見を言うとき、緊張して、頭が白くなる。呼ばれないように、祈る。」

「日本語の発音がおかしいと思われ、からかわれるのではないかと心配する。」

（予備調査において実施した外国人日本語学習者へのインタビューより抜粋）

近年の移送手段の発達によりグローバル化が進み、出生国以外の国で活動を行う可能性が増加している。異国で生活する、または異国の人と交流する上で、その国で使用されている言語を習得する必要があることはいうまでもない。一般的に母語（第一言語）は養育者をはじめとする母語話者との生活の中で自然に獲得される一方で、外国語（第二言語）は母語習得後に学

校等で学習することが多い。この第二言語習得は、必ずしも母語のようにスムーズに行われなことがある。Gardner & MacIntyre (1993) によると、第二言語学習に影響する情意要因として、統合性 (Integrativeness: 個人の意欲や、その言語を使用するメンバとのコミュニケーションへの興味)、学習への態度 (Attitudes toward the learning situation: 教師や授業に対する態度)、言語不安^{注1)} (Language anxiety: 語学の授業や、その言語を話す状況における不安)、動機づけ (Motivation: 語学学習に対する努力や願望) が挙げられている¹⁾。これらのうち、言語不安は第二言語獲得に負の影響を及ぼすことが報告されている^{2、3、4)}。言語不安を感じている言語学習者は、ドリルや事前準備したスピーチは問題なくこなせても、ロールプレイになるとフリーズしてしまう、学習中の言語の聞き取りに困難を感じる、テストの時に文法構文を「知って」いるのに「忘れて」しまう、といった報告をしている²⁾。また、日本語を学習中の留学生における言語不安は発話試験や文法試験の成績と負の相関を示す⁴⁾。これらは第二言語を学習する教室内における不安と第二言語学習との関連を示したもののだが、日本の大学で日本語を学習している留学生への調査によると、教室内よりも教室外で強い言語不安を感じていることが明らかとなった⁵⁾。このように、第二言語を学習あるいは使用する状況は、学習者に対し教室内外において学習中の言語に関する不安を生じさせ、その言語不安はときに第二言語習得の妨げとなることがある。

不安とは、漠然とした恐れ of 気持ちを指すが、第二言語を習得する状況において不安が惹起される理由として Stevick (1976, 石田訳, 1988) は自己概念 (自分の特性や能力に関する認識) への影響を挙げている⁶⁾。言語は自己表現のための重要なツールであり、新たな言語を習得するということは、これまで積み上げてきた自己イメージに変化をもたらす行為である。また、その言語を話す文化と自分を同一化することにもつながる。そのため、言語を習得しようとする学習者はさまざまな「自我に対する脅威」にさらされ、攻撃的あるいは引っ込み思案といった自己防衛的な反応が生じる⁶⁾。

また、Rogers C.R. の自己理論 (self-theory) によると、「自己概念」と「経験」(実際に経験される知覚) の間にズレがある不一致状態ではさまざまな不適応や心理的問題が生じるとされる⁷⁾。母語では言語を使用してなにかを表現するのに (自分には表現する能力があるはずなのに)、第二言語で表現することができない (現実 (第二言語を使う場面) では表現できなかった) という経験は、この不一致状態にあると考えられ、母語が堪能な人ほど習得中でまだ未熟な状態の第二言語での自分とのズレを知覚し、心理的問題を抱えやすい状態であるといえよう。

第二言語使用の際に生じる言語不安は、対人不安と正の相関関係、自己効力感と負の相関関係を示し^{8、9)}、学業的能力への自信や自尊感情と関連する^{10、11)} など、複数の個人特性と結びついている。また、Saito(1999) は英語を母語とする第二言語学習者における第二言語の「読み」

不安は学習中の対象言語によって異なり、日本語学習者の「読み」不安がロシア語やフランス語学習者よりも高く、その原因の一端は母語との表記システムの違いにあることを示唆した¹²⁾。したがって、学習者の個人特性のみならず、言語学習者の母語と標的言語の組み合わせも言語不安に関与する可能性が考えられ、言語不安の構造の解明は非常に困難である。しかし第二言語教育場面において、言語不安の実態を解析することは、学習者がスムーズに標的言語を習得する上で必須であろう。

2. 本研究の目的

本研究では、日本で第二言語として日本語を学んでいる学習者の自己評価について、「母語に対する自信」と「日本語に対する自信」の不一致度や日本語能力が言語不安に影響しているかを検討する。言語不安に関する先行研究を踏まえ、まず仮説1として「日本語能力が低い日本語学習者は、日本語不安が高い」を検討する。次に、Rogers C.R. による「自己概念」と「経験」のズレが心理的問題の生起に関与するという知見⁷⁾から、仮説2として「日本語不安が高い日本語学習者は、母語の自信と日本語の自信が不一致である。」を検討する。

さらに、「日本語不安を感じる場面」、「不安を感じた時取る行動」、「学習者がおかれた状況」に関する質問項目への回答パターンを分析する。

3. 方法

東京都内の日本語学校で予備調査を行い、その結果を踏まえて本調査の質問紙を作成した。質問紙の言語はルビつきの日本語、および英語を併記した。本調査は対象者の状況に応じて紙媒体またはオンラインによる Google ドキュメントにて回答を求めた。すべての調査は東京福祉大学心理学部の倫理審査を経て行なった。

3. 1 調査対象者

東京都内の日本語学校または大学に在籍する在日外国人を調査対象者とし、コンセンツフォームで同意を得た上で質問紙に回答を求めた。

3. 2 質問紙構成

①フェイスシート

国籍、母語、日本語能力試験（JLPT: Japanese Language Proficiency Test）などの個人特性を問うものから構成された。

②日本語不安尺度

元田（2005）により開発された日本語不安尺度（教室外）（JLAS: Japanese Language

Anxiety Scale)を用いた(項目例:「日本人と話すとき、おかしい日本語を使っているのではないかと心配になる」「日本人と日本語で話していて、彼らが何を話しているのかわからないとき、不安を感じる」など)¹³⁾。「全く当てはまらない」から「非常によく当てはまる」までの5件法である。

③日本語に対する自信

言語の4技能とされる「話すこと」「聞くこと」「読むこと」「書くこと」に加え、予備調査において「日本語の使用や学習において不安を感じる」として挙げられた「文法」「発音」を加えた6項目について、自分の日本語はどのくらいのレベルかを評定した。回答は「全く自信がない」から「非常に自信がある」までの4件法であった。

④母語に対する自信

「日本語に対する自信」の質問項目に対し「自分の母語」であれば、どれくらいのレベルに当たるかを評定するように、文言を変更して用いた。

⑤複数回答

予備調査において、日本語を使う時不安を感じるのはどんなときか、日本語を使っていて不安を感じた時何をしたか、または何をしたらいいと思うか等を自由記述にて回答を求め、得られた結果をもとに項目を作成した。質問紙では、「日本語不安を感じる場面」(項目例:「難しい日本語がたくさんあるとき」、「病院で症状を説明するとき」など)、「不安を感じたときの行動」(項目例:「日本人の友人に聞く」、「同じ国の友達に母語で話す」など)、「回答者の状況」(項目例:「日本人の友達がいる」、「同じ国籍の友人がいる」など)の3カテゴリについて、選択肢の中から当てはまるものを全てチェックしてもらった。

4. 結果

4. 1 分析対象者

調査結果を回収した145名のうち回答に不備があった1名を除き、分析の対象となったのは在日外国人144名であった。詳細を以下に示す。

①出身地:タイ(72名)、韓国(25名)、中国(21名)、台湾(6名)、香港(3名)、ミャンマー(2名)、バングラデシュ(2名)、イギリス(2名)、アメリカ(2名)、ドイツ(1名)、スリランカ(1名)、フィリピン(1名)、ラオス(1名)、スコットランド(1名)、イタリア(1名)、カナダ(1名)、ブラジル(1名)。

②JLPT:N1(62名)、N2(35名)、N3(18名)、N4(8名)、N5(0名)、未取得(21名)。

4. 2 日本語不安尺度

因子分析の結果、 α 係数は0.851であり、信頼性が確認された。日本語不安得点の平均値は

20.26、標準偏差は6.44であった。平均値を基準とし、日本語不安得点が21点以上の回答者を不安高群（ $n=88$ ）、20点以下を不安低群（ $n=56$ ）とし、以降の分析を行った。

4. 3 日本語および母語に対する自信

日本語に対する自信および母語に対する自信ともに、6項目の合計点を自信の得点とした。日本語に対する自信得点の平均は15.91、標準偏差は3.11であり、母語に対する自信の平均は21.63、標準偏差は2.80であった（図1）。対応のあるt検定の結果、有意差がみられた（ $t(143)=18.001$, $p<.001$ ）。

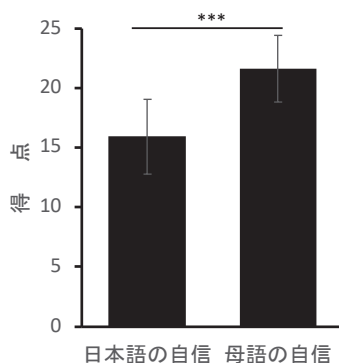


図1. 日本語と母語に対する自信得点（平均値±標準偏差）（***: $p<.001$ ）

4. 4 日本語不安、日本語に対する自信、母語に対する自信の相関関係

日本語不安、日本語に対する自信、母語に対する自信の相関係数を算出した（表1）。無相関検定を行ったところ、相関関係が認められたのは、日本語不安と日本語に対する自信（ $r=-0.41$, $p<.01$ ）、日本語に対する自信と母語に対する自信（ $r=0.17$, $p<.05$ ）であった。

表1. 日本語不安、日本語に対する自信、母語に対する自信の相関係数（**: $p<.01$, *: $P<.05$ ）

	日本語不安	日本語の自信
日本語の自信	-0.41**	
母語の自信	-0.10	0.17*

4. 5 母語に対する自信と日本語に対する自信の不一致感度と日本語不安の関係

母語に対する自信得点から日本語に対する自信得点を引き、不一致度とした。日本語不安の高群、低群を独立変数とするt検定を行ったところ、有意差がみられ、日本語不安が高い群は不一致度が大きいという結果が得られた（ $t(142)=2.771$, $p<.01$ ）（図2）。

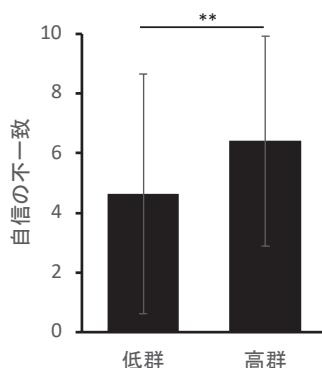


図2. 日本語不安高、低群における、日本語に対する自信と母語に対する自信の不一致度 (平均±標準偏差) (**: $p<.01$)

4. 6 日本語能力試験レベルと日本語不安の関係性

日本語の能力の客観的指標として、本研究では日本語能力試験 (JLTP) のレベルを基準とした。能力の高い方から順に N1, N2, N3, N4, N5 である。分析対象者中に N5 該当者はいなかった。調査対象者144名中 JLPT 未取得者21名は、日本語能力を客観的に判断することが困難なため分析対象外とした。取得した JLPT レベルを独立変数、日本語不安を従属変数とした分散分析を行ったところ、有意差が見られた ($F(3,119)=4.764$, $p<.01$)。Tukey HSD を用いた多重比較の結果、「N1」と「N3」、および「N1」と「N4」の間に有意差がみられ、日本語のレベルが高いと日本語不安が低いことが明らかになった ($p<.05$) (図3)。

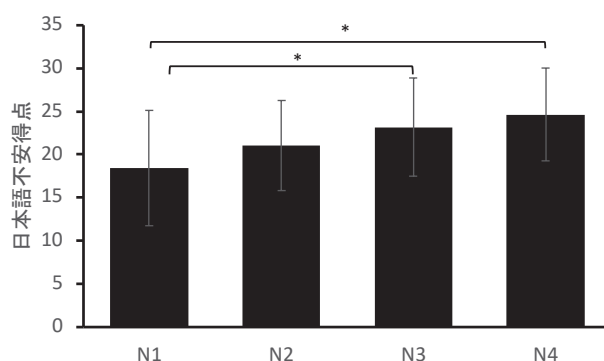


図3. JLPT レベル別の日本語不安得点 (平均±標準偏差) (*: $p<.05$)

4. 7 複数回答の解析

「日本語不安を感じる場面」、「不安を感じる時にとる行動」、「回答者の状況」をアイテムカテゴリとして数量化Ⅲ類を実施した。数量化Ⅲ類とは複数の項目に対する回答傾向を分析し、行動パターンの分類を行う手法である。分析にあたって、肯定率が20%以下（ $n=144$ のため、29人以下）の項目は除外した。アイテムスコアの第Ⅰ軸と第Ⅱ軸について、平面上にプロットしたものを図4に示す。固有値は第Ⅰ軸が0.08、第Ⅱ軸が0.07であった。図4上で近い位置にある項目をもとに以下の3つのクラスタに分類した。

図4の上領域（第Ⅰ軸正・負、第Ⅱ軸正領域）には「日本語不安を感じる場面」のうち「自分の日本語が下手だと思われる」や「日本語の上手な留学生がそばにいて話すとき」などの項目が付置し、「日本語が上達しない」、「外国人扱いされている」という状況に置かれている。また、不安を感じた時に「事前に準備する」ことや「自分で調べる」などの行動を取る傾向があることが明らかとなった。

図4の左領域（第Ⅰ軸負、第Ⅱ軸正・負領域）には「回答者の状況」のうち、「日本語を勉強するのが価値がある」「日本のことに興味を持っている」などの項目が付置し、「日本人の友人に聞く」という行動を取る傾向がある。この領域には「同じ国籍の友人がいる」、「日本人の友人がいる」、「質問できる先生がいる」などの項目も付置した。

図4の右下（第Ⅰ軸正、第Ⅱ軸負領域）には、「日本語不安を感じる場面」のうち、「日本語の試験がある」、「日本語で発表する」、「病院で説明をする」などの項目が付置し、不安を感じたとき取る行動に「母語や英語で話す」、「好きなことをする」などの項目が付置した。

5. 考察

本研究では日本国内で第二言語として日本語を学習中の人を対象とし、日本語不安の実態を解明するために質問紙調査を行った。対象者の出身国、JLPT レベル等のフェイスシートと、アンケート項目として「日本語不安」、「日本語に対する自信」、「母語に対する自信」についてリッカート形式、「日本語不安を感じる場面」、「日本語不安を感じた時の対処法略」、「回答者の状況」について複数回答形式にて回答を求めた。得られた回答のうち、不備のなかった144名のデータをもとに解析を行なった。

日本語不安と日本語の自信の相関関係を検討したところ、日本語不安は日本語に対する自信と中程度の負の相関関係がみられた（ $r=-0.41$, $p<.01$ ）。したがって、日本語に対する自信がない学習者は日本語不安が高く、日本語に対する自信がある学習者は日本語不安が低い傾向にあることが明らかとなった。さらに本研究では、JLPT レベルと日本語不安の関連も検討した。その結果、JLPT レベルが低いほど日本語不安が高く、最高レベルのN1と比較して、N3や

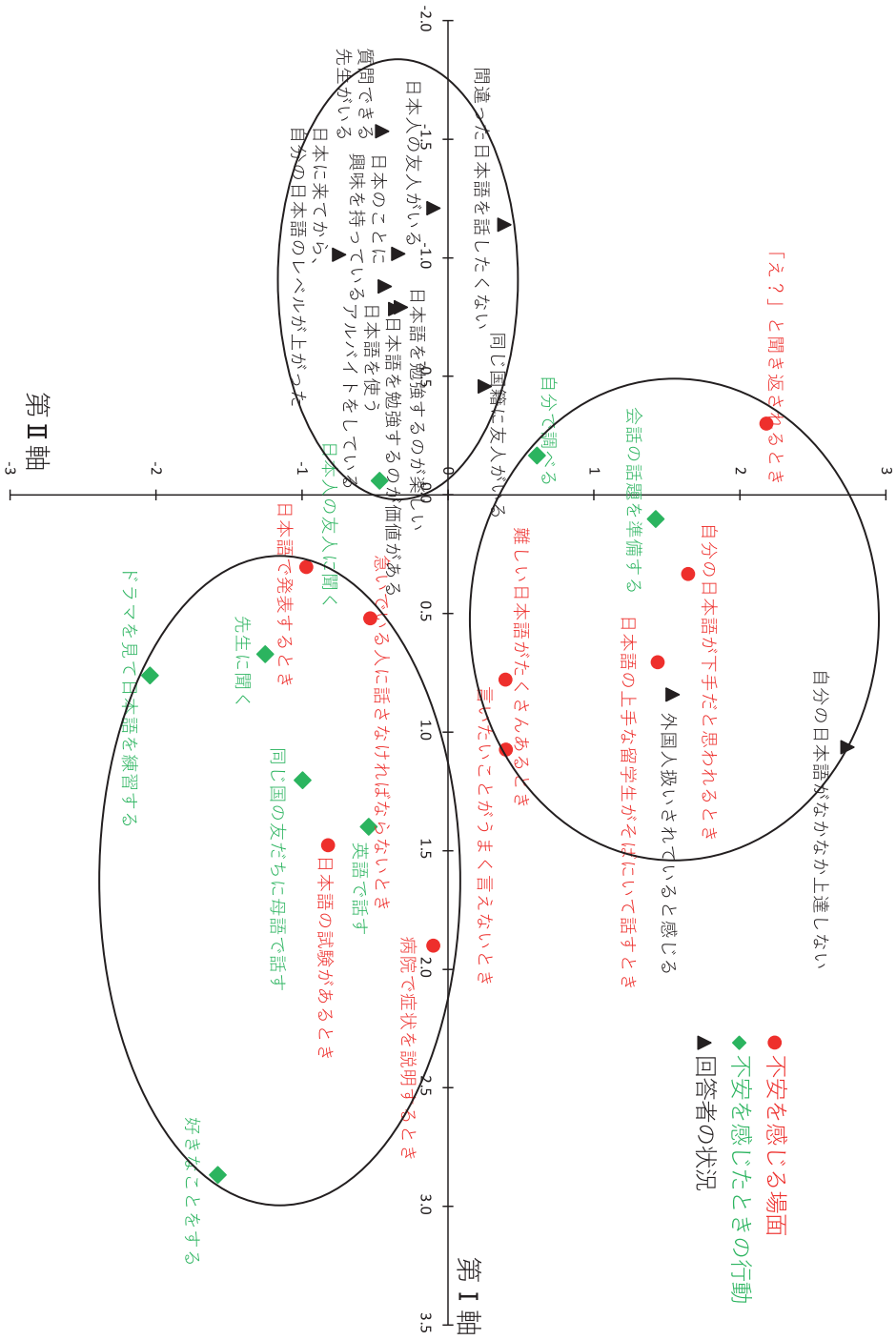


図4. 複数回答の分析結果

N4 レベルの学習者の日本語不安が有意に高かった。これらより、主観的な日本語の能力を反映する日本語に対する自信、および客観的な日本語能力を反映する JLPT レベルの両者において仮説1「日本語能力が低い日本語学習者は、日本語不安が高い。」は支持された。この結果は、日本語能力の自己評定と日本語不安に負の相関を見出した先行研究⁵⁾や、日本語学習者が所属する機関で行われた日本語試験の成績と日本語不安に負の相関を示した先行研究^{4, 14)}と一致する。日本語不安を軽減するためには、主観的、客観的に日本語能力を上げる必要があると考えられる。

また日本語に対する自信と母語に対する自信の間に弱い正の相関がみられた ($r=0.17$, $p<.05$)。ただし、母語に対する自信は日本語不安との関連性は認められなかった ($r=-0.10$, n.s.)。これらの結果から、母国語の運用に自信がある人は第二言語である日本語に関してもある程度の自信を持つが、母語に対する自信そのものは日本語不安を感じるかどうかを予測することはできないことが示唆された。

さらに、日本語と母語に対する自信に関して、日本語に対する自信得点と母語に対する自信得点との間に有意差がみられた。Rogers C.R. の自己理論において、「自己概念」と「経験」にズレがある状態は、さまざまな心理的問題が生じるとされている⁷⁾。本研究では「母語であればできることが、学習中の言語ではできない」という言語学習中の学習者に生じる葛藤状態が、この「ズレ」にあたると想定し、日本語不安という一種の心理的問題との関係性を検討するため、母語の自信得点から日本語の自信得点を引いて「不一致度」とし、日本語不安の高低による不一致度の差異を分析した。その結果、日本語不安の低い群と比較して高い群の方が自身の母語と日本語の不一致度が高いことが明らかとなった。したがって、仮説2「日本語不安が高い日本語学習者は、母語の自信と日本語の自信が不一致である。」は支持され、日本語不安が高い学習者は母語での自分の能力と、学習中の日本語での自分により大きな乖離を感じていることが示唆された。学習中の言語に対する自信や自己評定と言語不安との関連を検討した先行研究は複数報告されている。これらには他者（他の留学生）と比較、あるいはクラス内でどのレベルに位置するかという観点で自分がどれくらいの能力があるかを尋ねたものはあるが¹¹⁾、自分自身との比較（母語での自分と第二言語の自分）といった観点は新しい。本研究の結果から、日本語に対する自信をあげるなどの自己内の葛藤状態を解消する働きかけが不安の軽減の一助となることが示唆された。

どのような場面で言語不安を感じるかは、その学習者のおかれた立場、学習状況や生活状況によって異なることが推測される。言語不安が第二言語学習場面においてネガティブな影響をおよぼす^{2, 4)}ことを鑑みると、どのような状況で言語不安を感じるのか、また言語不安を感じた時にどのような対処を取るのが有効かを検討することは、第二言語学習者がスムーズに言語学習を進める上で重要であろう。そこで本研究では「日本語不安を感じる場面」と「不安を

感じたときの行動」、「学習者の現在の状況」についての複数回答を分析した。その結果、回答パターンが3群に分けられることが明らかとなった（図4）。「日本語不安を感じる場面」については、「他者との比較でストレスを感じる」群（「日本語の上手な留学生がそばにいて話す」や「自分の日本語が下手だと思われる」など）と、「比較的公的な場面でストレスを感じる」群（「日本語で発表する」や「病院で症状を説明する」など）に分類された。このうち、「他者との比較でストレスを感じる」群は、積極的に学習する（「会話の話題を準備する」、「自分で調べる」）ことで不安に対処していることが明らかとなった。「公的な場面でストレスを感じる」群は、日本語を避ける（「同じ国の友達に母語で話す」、「英語で話す」）ことや直接日本語を使わない（「ドラマをみて日本語を勉強する」）行動をとる傾向がある。一方で、「日本語不安を感じる場面」への反応がない群も存在し、この群では語学学習に対するポジティブな回答（「日本語を勉強するのが楽しい」、「日本語を勉強するのが価値がある」）がみられた。また、対人関係の豊富さを示す回答（「同じ国籍の友人がいる」、「日本人の友人がいる」、「質問できる先生がいる」）が複数みられた。

日本語学習や日本に対してポジティブな感情を持つ学習者が言語不安を感じづらいという本研究の分析結果は、第二言語学習を楽しむことと言語不安に負の相関関係を見出した研究¹⁵⁾や、大学の授業で選択科目として（興味や楽しみとして）日本語のクラスを選んだ学生の言語不安が必修科目として日本語のクラスをとっている学生よりも低いことを報告した研究¹⁴⁾と一致する。これらより、言語学習や標的言語を使用する文化に対するポジティブな意識づけ（日本語を学ぶ価値や、日本語学習の効果〈日本語レベルの上昇〉を伝えたり、興味をもたせること）が言語不安に対処する行動の一つとして挙げられるであろう。また本研究では、言語不安を感じる場面は、他者との比較の場面で不安を感じやすいタイプと公の場で不安を感じやすいタイプにわかれ、不安を感じた際にそれぞれ異なる行動をとることが示唆された。言語不安の制御に関し、先行研究において、言語学習者の言語不安と自尊感情の高低に基づく組み合わせ（言語不安・高×自尊感情・高、言語不安・高×自尊感情・低、言語不安・低×自尊感情・高、言語不安・低×自尊感情・低）によって、動機づけの高まるフィードバックが異なる傾向があることが報告されている¹⁶⁾。したがって、どのような場面で不安を感じるかという学習者の特性に応じて異なる助言をする（予習することを勧めるか、学習言語使用場面を一時的に避けることを勧めるか）ことが有効である可能性が示唆された。また、人的リソースの提供（留学生同士のコミュニティを紹介することや日本人とのつながりを作ること）が言語不安を感じさせないことや軽減につながると推測される。

今後の検討課題

本研究の複数回答の分析結果より、不安を感じる場面の個人差や不安を感じた際の行動の違

いが明らかとなった。今後、言語学習者に対して個人特性に応じた助言をすることや、標的言語を使用するメンバや文化との交流の機会を設けることが、言語不安にどのような影響を及ぼすかを検討し、その効果を実証する必要があると考えられる。

本研究の分析対象となった144名には JLPT の最も低いレベルである N5 がおらず、最高レベルの N1 (N1~N4 回答者全体における50.8%) の回答者が多かった。2023年12月実施の JLPT (日本国内で実施された試験) の結果 (N1: 16.4%, N2: 29.6%, N3: 31.2% いずれも N1~N5 合格者全体における割合。(日本語能力試験, 2024より算出)¹⁷⁾) と比較すると、本研究の分析対象者は比較的レベルが高い日本語学習者であった。本調査において用いた質問紙には日本語と英語のみ併記したため、質問項目の読解や回答に困難を感じた対象者が質問紙を提出しなかった可能性がある。第二言語としての日本語学習者における日本語不安の実態を解明するためには、より初級レベルの学習者を含めた広範囲の対象者からデータを収集する必要があると考えられる。そのため質問紙において回答者の母語にあたる言語を使用するなどの工夫が必要である。

また今回の調査では日本語不安に影響する要因として「日本語に対する自信」と「母語に対する自信」の不一致度を検討課題としたが、第二言語学習者の中には、「母語ではないから、流暢に話せなくてもよい」と判断する者もいると考えられる。今後「第二言語をどれくらいのレベルで使用したいか」といった、いわば「第二言語としての自己概念」と「第二言語での経験」という観点での調査も必要であると考えられる。

謝辞

本論文は Wannasa V. 氏が東京福祉大学の卒業研究として収集したデータの一部を再分析し、考察したものです。記して感謝申し上げます。

<注>

- 1) 本論文では「特性不安」(ふだん不安を感じやすい傾向)と「言語不安」(言語を使用する場面における不安の感じやすさ)を区別している。日常生活の中では不安を感じにくい、すなわち特性不安が低い第二言語学習者であっても、言語を使用する場面で特異的に不安感が高まる場合は、「言語不安が高い」と表現される。

<引用文献>

- 1) Gardner R.C. & MacIntyre P.D. (1993) On the measurement of affective variables in second language

- learning. *Language Learning* 43(2), 157-194.
- 2) Horwitz E.K., Horwitz M.B. & Cope J. (1986) Foreign language classroom anxiety. *The Modern Language Journal*, 70(2), 125-132.
- 3) MacIntyre P.D. & Gardner R.C. (1994) The subtle effects of language anxiety on cognitive processing in the second language, *Language Learning*, 44(2), 283-305.
- 10) Onwuegbuzie A.J., Bailey P. & Daley C.E. (1999) Factors associated with foreign language anxiety. *Applied Psycholinguistics*, 20(2), 217-239.
- 12) Saito Y., Horwitz E.K. & Garza T.J. (1999) Foreign language reading anxiety. *The Modern Language Journal*, 83(2), 202-218.
- 14) Aida Y. (1994) Examination of Horwitz, Horwitz, and Cope's Construct of foreign language anxiety: The case of students of Japanese. *The Modern Language Journal* 78(2), 155-168.
- 15) Dewaele J., Botes E. & Meftah. (2023) A three-body problem: the effects of foreign language anxiety, enjoyment, and boredom on academic achievement. *Annual Review of Applied Linguistics*, 1-17.
- 4) 池田 伸子 (1997) 外国語学習不安と成人学習者の日本語習得, 留学生教育, 2, 121-130.
- 5) 元田 静 (1999) 初級日本語学習者の第二言語不安についての基礎的調査, 日本教科教育学会誌, 21(4), 45-52.
- 6) Stevick E. W. (1976) *Memory meaning and method: Some psychological perspective on Language learning*. Rowley, Massachusetts: Newbury House Publishers. [石田敏子 (訳) 1988新しい外国語教育－サイレント・ウェイのすすめ－, アルク]
- 7) 伊藤 博 (編訳) (1967) ロージャズ全集 8 パースナリティ理論, 岩崎学術出版社.
- 8) 元田 静 (2000) 日本語不安尺度の作成とその検討－目標言語使用環境における第二言語不安の測定－, 教育心理学研究, 48, 422-432.
- 9) 王 玲静 (2013) 第二言語習得における心理的不安の研究, ひつじ書房.
- 11) 元田 静 (2004) 第二言語不安と自尊感情との関係－日本語学習者を対象として－, 言語文化と日本語教育, 28, 22-28.
- 13) 元田 静 (2005) 第二言語不安の理論と実態, 溪水社.
- 16) 西田 まり・松田 稔樹 (2008) 外国語学習者の言語不安を制御するフィードバック, 一橋大学留学生センター紀要, 11, 35-46.
- 17) 日本語能力試験 「過去の試験データ」 <https://www.jlpt.jp/statistics/archive/202302.html> (2024年10月28日閲覧)

付録

＜日本語不安尺度（教室外）＞

あなたは、日常生活で、以下のような不安を感じていますか。当てはまる数字1 つに○をしてください。

Do you feel following kinds of anxiety in your daily life? Please read the statements below, and circle the one number which best indicates how you feel.

Strongly disagree	disagree	Neither agree nor disagree	agree	Strongly agree
1	2	3	4	5

1	日本人に日本語で自分の意見を言わなければならないとき、緊張する。 When I have to express my opinion in Japanese people, I get nervous.	1 2 3 4 5
2	電話で日本語を話さなければならないとき、緊張する。 When I have to speak Japanese to the telephone, I get nervous.	1 2 3 4 5
3	日本人が教室で学んだものと違う日本語を使ったとき、不安になる。 When Japanese people speak Japanese which is different from that I learned in my Japanese class, I get nervous.	1 2 3 4 5
4	日本人と話すとき、おかしい日本語を使っているのではないかと心配になる。 When I am talking to Japanese people, I worry about using strange Japanese.	1 2 3 4 5
5	日本人と日本語で話していて、彼らが何を話しているのかわからないとき、不安を感じる。 When I am talking with Japanese people and I can't understand what they are saying, I feel uncomfortable.	1 2 3 4 5
6	日本人と日本語で話をするとき、自分が伝えたいことがうまく通じなかったらどうしよう、と不安になる。 When I talk to Japanese people in Japanese, I worry that they can't understand what I want to say.	1 2 3 4 5
7	困ったことがあって、日本人に日本語で助けを求めなければならないとき、緊張する。 When I am having problems and have to ask Japanese people to help in Japanese, I get nervous.	1 2 3 4 5

<日本語に対する自信>

以下の項目について、あなたはどれくらい**自分の日本語**に自信がありますか。当てはまる数字に1つ○をしてください。

How confident are you about your Japanese ability in the following items? Please circle the number, which best indicates how you feel.

まったく自信がない			非常に自信がある
Not at all			Completely
1	2	3	4

1	話すこと Speaking	1	2	3	4
2	聞くこと Listening	1	2	3	4
3	読むこと Reading	1	2	3	4
4	書くこと Writing	1	2	3	4
5	文法 Grammar	1	2	3	4
6	発音 Accent	1	2	3	4

<母語に対する自信>

以下の項目について、あなたはどれくらい**自分の母語**に自信がありますか。当てはまる数字に1つ○をしてください。

How confident are you about your Native language ability in the following items? Please circle the number, which best indicates how you feel.

まったく自信がない			非常に自信がある
Not at all			Completely
1	2	3	4

1	話すこと Speaking	1	2	3	4
2	聞くこと Listening	1	2	3	4
3	読むこと Reading	1	2	3	4
4	書くこと Writing	1	2	3	4
5	文法 Grammar	1	2	3	4
6	発音 Accent	1	2	3	4

<複数回答>

以下のうち、不安を感じるものにチェックをつけてください。

When do you feel anxious? Please select the following items which indicates how you feel.

- ☐ 外国人と日本語で話すとき When you speak Japanese with a non-native Japanese speaker.
- ☐ レストランで注文するとき When you order some food at the restaurant.
- ☐ 日本語の上手な留学生がそばにいて話すとき When you have to speak Japanese near some international student who speak Japanese better than you.
- ☐ 自分の日本語が下手だと思われるとき When people think your Japanese is not so good.
- ☐ 難しい日本語がたくさんあるとき When there are many difficult words.
- ☐ 知らない日本人に話しかけられたとき When Japanese people you do not know talk to you.
- ☐ 日本語の試験があるとき When there is a Japanese test.
- ☐ 言いたいことがうまく言えないとき When you can not say what you want to say.
- ☐ 「え？」と聞き返されるとき When Japanese people ask you to repeat what you have said.
- ☐ 急いでいる人に話さなければならないとき When you have to speak to Japanese who is rushing.
- ☐ 病院で症状を説明するとき When you have to explain you illness to a doctor in Japanese.
- ☐ 日本語で発表するとき When you have to do a presentation in Japanese.

不安を感じたとき、どうしますか。当てはまるものにチェックをつけてください。

How did you manage anxiety? Please select the following items which indicate how you feel.

- ☐ 日本人の友人に聞く You ask your Japanese friend.
- ☐ 先生に聞く You ask your Japanese teacher.
- ☐ 同じ国の友達に母語で話す You talk with friend in your own native language
- ☐ 自分で調べる You check and practice by yourself.
- ☐ 深呼吸をする You take a deep breath before speaking Japanese.
- ☐ 鏡の前で練習する You practice Japanese in front of a mirror.
- ☐ 会話の話題を準備する You prepare some topic before talking with Japanese
- ☐ ほめてもらう You find someone to complement your Japanese.
- ☐ 日本語を使う場を避ける You avoid using Japanese.
- ☐ ドラマを見て日本語を練習する You watch Japanese drama to practice Japanese.
- ☐ 好きなことをする You do your hobby.
- ☐ 英語で話す You speak in English instead.

あなたの状況に当てはまるものにチェックをつけてください

Please select the following items which indicate your situation.

- ☐ 日本のことに興味を持っている You are interested in Japan.
- ☐ 日本語を勉強するのが楽しい Studying Japanese is fun.
- ☐ 日本語を勉強するのが無駄だ You think studying Japanese is useless.
- ☐ 日本人の友人がいる You have Japanese friend.
- ☐ 母国でたくさん日本語を勉強した You have studied Japanese a lot in your country.
- ☐ 日本に来てから、自分の日本語のレベルが上がったと感じた After you came to Japan, you feel your Japanese improved.
- ☐ 日本語を勉強するのが価値がある For you it is worth studying Japanese.
- ☐ 質問できる先生がいる You have a teacher who you can ask about your Japanese problems.
- ☐ 間違った日本語を話したくない You do not want to speak wrong Japanese sentences.
- ☐ 外国人扱いされていると感じる You feel like you are treated as a foreigner.
- ☐ 同じ国籍に友人がいる You have friends who have the same nationality with you.
- ☐ 日本語を使うアルバイトをしている You have a part-time job that Japanese is necessary.
- ☐ 自分の日本語がなかなか上達しない You feel like your Japanese skill has not improved.
- ☐ 漢字がわからない You do not know KANJI.
- ☐ 日本人の恋人がいる You have Japanese boy/girlfriend.
- ☐ 国に帰りたい You want to go back to your country.
- ☐ 今このアンケートをやって、疲れを感じる You are tired doing this questionnaire.

(すえなが・としこ 英語国際学部准教授)